



見附市立見附小学校 学校だより

「自ら学び 進んで鍛え 共に伸びる見小の子」

みしよ

No. 343

令和5年12月22日(金)発行

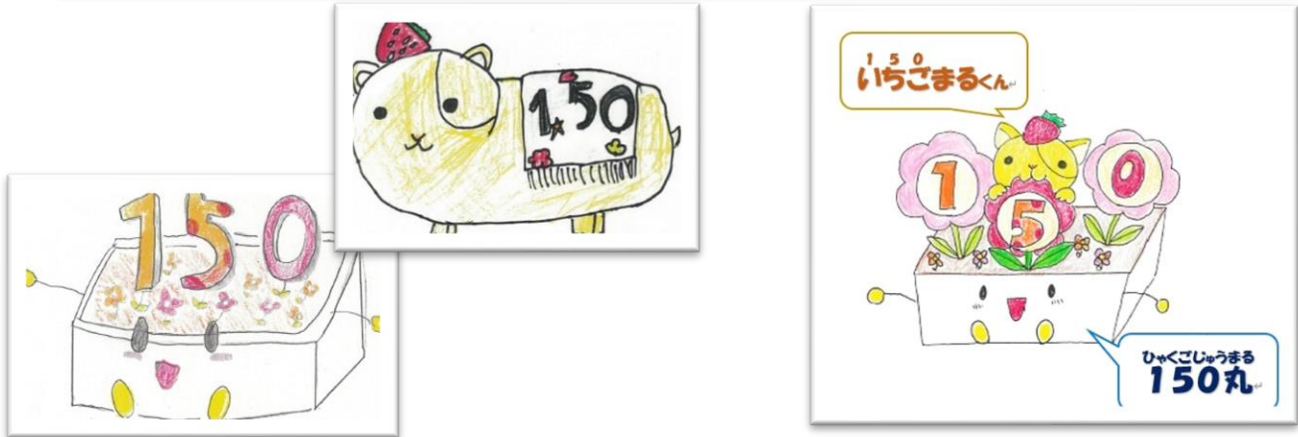
〒954-0052

見附市学校町1丁目3番89号

Tel 0258 (62) 0141

<https://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/misho/>

HPが新しくなりました。



「折り合い」は対話から生まれる

校長 後藤 正美

11月3日の150周年式典の日に、青空児童会がマスコットキャラクターの投票を来校者に呼びかけました。子供たちが考えた10の作品から、1つを選んで投票するのです。当日には、稲田市長をはじめとする多くの来校者が1票を投じ、子供たちの事前投票と合わせて記念キャラクターが決定することになります。ところが、結果は2つのキャラクター(写真左)が98票で同点となったのです。皆さんならどうしますか？

見小っ子たちも悩みます。全校で決選投票をしようか、再度保護者投票をしようか、議論は分かれます。ここで子供たちが出した結論は、「市長さんをはじめとする多くの皆さんが投票した結果を大切に、両方をコラボしたい。」というものでした。

私は、子供たちのこの判断に拍手を送りたいのです。せっかくの投票結果は尊重すべき、でも個々の作品も大切にしたい。そこで、作者の思いやアイデアを丁寧に聞き、1つにするという納得解を導いたのです(写真右)。折り合いを付けたとも言えます。

「令和」には、「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味があります。子供たちが「心を寄せ合う」ことを、まさに姿で教えてくれました。悲しいニュースが多い中、自己都合を優先しがちな大人こそ学ぶべき態度だと感じました。

折り合いをつけるには「対話」が何より大切です。対話とは、加留部貴行氏によると「話す」と「聴く」のかけ算とのことです(下表)。一番効果的な話し合いは、「話す5」と「聴く5」の場合、つまり、一方的に主張するだけでは対話にならないことになりま

0 = 0 (聴く) × 1 0 (話す)
9 = 1 (聴く) × 9 (話す)
1 6 = 9 (聴く) × 2 (話す)
2 5 = 5 (聴く) × 5 (話す)

九州大学大学院 統合新領域学府
客員准教授 加留部貴行氏の講演資料より

す。さらに、「聴す」という言葉があります。これは「ゆるす」と読みます。「聴く」ことで一番大切なことは、相手を許す心でしっかりと聴く、許し合う関係性が大切ということなのですね。どうぞ対話の多い冬休みをお迎えください。

2学期の多大なご支援とご協力に感謝申し上げます、皆様お揃いでよいお年を迎えられますことを、心よりお祈り申し上げます。